

おもいやり通信

発行：社会福祉法人 清水保育園
 幼保連携型認定こども園 清水こども園
 発行日：令和8年3月31日

第 56 号



早いものでもう3月末。今年度も最終日となりました。この1年で心も体も成長した子ども達。お友達と過ごす時間の中で、「ありがとう」「ごめんなさい」の言葉が自然と聞こえてきます。

思いやり3原則『手伝う、励ます、ありがとう』の実践は世界を幸せにする魔法です。

相手の気持ちを察し、さりげなく手伝い、励まし、感謝することが出来る、そんな素敵な子どもたちに育って行ってほしいと願っています。



今年度のメイン活動

<おもいやりカードで四つ葉のクローバーづくり>

素敵な「四つ葉のクローバー」が完成！！



6月「てつだう」11月「はげます」2月「ありがとう」をテーマとして、各家庭からハートの思いやりカードにメッセージを記入し提出していただき、素敵なクローバーが完成しました。

家庭から提出された思いやりパーツカード(4枚：保護者提出は3枚・1枚は担当で記入)を使って、個人の「思いやりカード」を作り先日プレゼントさせていただきました。

ご家庭でも思いやりについて、お子さんとお話してみてください。



心温まるメッセージを沢山ありがとうございました

令和7年度 第3回思いやり集会を開催

思いやり集会で心があたたかくなりました

令和8年2月24日(火)に思いやり集会を行いました。園長先生の話、おもいやりのうた合唱、各クラスからの思いやりエピソードの発表が行われました。その後、各クラスで、「思いやりカルタ」を行い盛り上がりました。また、園長先生がうさぎ組さんに思いやり絵本「いつもいっしょに」の読み聞かせを行いました。

各クラスからの思いやりエピソードについては、裏面に記載していますので、ご覧ください。



思いやりの心を育てるポイント

子どもは大人の姿をしっかりと見ています。親が思いやりのある行動を日々子どもの前でしていく事で自然と子ども達の思いやりの心も成長していきます。又、子どもの優しい行動を見逃さず、具体的に褒めていく事で子どもの自信や信頼感も育っていきます。是非、お家でのお子様との関わり方や行動をもう一度振り返ってみて職員共に子ども達の思いやりの心を育てていけたらと思います。



<思いやりの心を育てる三つのポイント>

- ・子どもの些細な気づきや優しい行動を見逃さず観察する
- ・行動の直後でなく少し時間をおいて褒める
- ・親自身も日常の中で思いやりを示し、言葉や態度で伝える



思いやり集会での各クラスからのエピソード紹介

ひよこ組 0歳児

少しずつ玩具の貸し借りが出来るようになってきて、「カーレーでー」と話せる子や、両手をトントンとして、身振りで伝える子がいます。玩具を貸してもらえると、ありがとうの「とう」と伝えたり、お辞儀をしてありがとうと伝えるようになってきました。言葉や貸し借りの仕方を覚えている最中になりますが、その姿を見て成長を感じて心が温かくなりました。



ひよこ組 1歳児

オープン保育になってから、0歳児のお友達にそっと手を差し伸べてあげる姿やおもちゃを「どうぞ」と貸してあげる姿が沢山見られるようになってきました。又、お話が少しずつ上手になりひよこ組では「ありがとう」の言葉もたくさん聞く場面が増えてきました。これかも、周りのお友達に対して思いやりの気持ちがしっかりと持てるよう楽しく温かいクラスにしていきたいと思えます。



りす組



感謝の気持ちの大切さや、伝えられた時の気持ちについて話をすると、積極的に保育教諭等や友達に対して「ありがとう！」と伝えられるようになってたりす組さん。ただ「ありがとう！」と伝えるのではなく、どんな言い方をしたら相手が嬉しい気持ちになるのかな？と日々の保育の中で振り返る事を大切にしてきました。伝えられた時の気持ちを考え「ありがとう！」と伝える事が出来るようになり、気持ちを伝えた側も伝えられた側も笑顔で嬉しい気持ちになります。これからも「ありがとう！」「どうぞ！」など優しくふわふわ言葉で溢れていって欲しいなと思えます♡

うさぎ組

「ありがとう」って言われるとどんな気持ちかな？と聞くと、嬉しい気持ちになる、あったかくなる、心がぽかぽかする、、、子ども達からは優しい言葉がたくさん返ってきました♡ありがとうって言葉は言った人も言われた人も優しい気持ちになる不思議な言葉だね～と話すと、聞いているみんなの顔もにこにこ笑顔に◎また、園長先生から読んでもらった絵本「いつもいっしょに」では、気持ちを伝えるって大切だと知る事ができ、お友達との遊びの中でも、気持ちをしっかりと言葉で伝えて解決しようとする姿が多く見られるようになりました。これからもおもいやりの心が大きく育てて優しい言葉でほんわかあったかい気持ちで過ごせますように、、、



くま組

友達との関わりが深まってきた事で、「ありがとう。」や、「ごめんね。」を自分の言葉で伝えられるようになってきた子ども達。以前は、気持ちの焦りや高まりから「ありがとう。」を伝える事を忘れてしまったり、丁寧に伝える事が難しかったりする時がありました。言葉や気持ちを伝える中で、どの様に伝えていくと相手は嬉しい気持ちになるのかを日々の中で考えていけるようにクラスで話をしていきました。最近では、相手の立場になって思いを考えながらお話が出来るようになってきました。「大丈夫だよ。」「いつもありがとう。」などたくさんの素敵な言葉が多く聞けるようになってきています。そんな姿に心が温かくなっている毎日です。



ぞう組

今までこども園で出会った友達や先生、そして一緒に過ごしてきた家族にどんなことを伝えたいかと尋ねると、「ありがとう」を伝えたいという声が一番にあがっていました。「ありがとう」を言われると心に安全基地ができていき、それによって失敗を恐れずに挑戦する気持ちがうまれるそうです。未来の自分や人との関わりを繋げていく魔法の言葉「ありがとう」を伝えて合う日常をこれからも大切にしていきたいと思えます。



田名地区社会福祉協議会主催

ぞう組が田名合唱祭で「OMOIYARIのうた」を披露

今年度の新しい活動として、12月6日(土)に田名地区社会福祉協議会主催による「田名合唱祭」が開催され、ぞう組が参加しました。当日は15名の参加となりましたが、「あおいそらにえをかこう」「OMOIYARIのうた」2曲を立派に歌い上げ、会場は温かい雰囲気に包まれました。田名地区情報サイト「たななび」のYou Tube たなちゃんページにアップされておりますのでご視聴下さい。

【たななび】田名地区情報サイト | 相模原市の田名地区自治会連合会

<https://www.tananavi.com/>

